

コミュニケーション英語 I
Revised ENGLISH NOW English Communication I
年間指導計画案

1. 到達目標

1. 英語を聞いたり読んだりすることにより、生徒にとって身近な話題や生徒の教養を高める分野に関する情報を得たり、相手が何を考えているのかを理解したりする力をつけさせる。
2. 基礎的な英語を使って、学習したことについて話したり書いたりする力をつけさせる。これにより、情報や自分の考えを伝えたりするコミュニケーション能力を育成することが可能となる。

2. 学習計画及び評価方法

(1) 年間学習計画など

学 期	月	学 習 内 容 と ね ら い (注) 言語材料のうち、*は高校で初めて学習する項目を示す。 計 85 時間	備 考 (学習活動の特記事項)	考 査 範 囲
第 1 学 期	4	Let's Start 1 (0.5) アルファベットと身の回りの英語	・英語の文字を確認する。また、いろいろな単語の発音に慣れる。	第 1 学 期 中 間 考 査
		Let's Start 2 (0.5) 英語らしく発音しよう	・発音やアクセントに注意して聞き分けたり、言ってみたりする。	
		Let's Start 3 (1) Classroom English	・Classroom English を積極的に使用し、授業での英語使用を高められるようにする。	
		中学校の復習① (0.5) 日付や曜日の言い方	・日付や曜日の言い方を確認する。日付や曜日を尋ね合う。	
		中学校の復習② (1) 文の要素と品詞	・英語の基本的な語順に慣れ、文の構成要素を理解する。	
		辞書の使い方 (0.5)	・辞書の使い方に慣れる。いろいろな単語を調べる。	
	5	Lesson 1 "Hello, Everyone." (4) <題材> 高校生になった春香が、クラスメートに自分のことを知ってもらうために自己紹介をする。 <機能・表現> 自己紹介の表現 (好みや趣味を表す表現) <言語材料> ①be 動詞と一般動詞 ②助動詞 (肯定文/否定文)	・自分の好きなことや嫌いなこと、趣味、家族や出身中学校のことなどを話題にして、英語で自己紹介スピーチをする。	
		Lesson 2 Text Messages (5) <題材> 英語と日本語のショートメッセージに使われる顔文字の違いや略語について理解する。 <機能・表現> 説明や描写、質問する表現 <言語材料> ①疑問文 (be 動詞や助動詞を含む文/一般動詞の文) ②過去形 (be 動詞/一般動詞)	・友だちを何かに誘うショートメッセージを作成する。ペアやグループで確認し合う。また、それぞれの返信も書いてみる。	

第 1 学 期	5	Let's Communicate 1 電話をかけよう (2) 美樹がトムを電話でテニスに誘う設定で、ロールプレイを行う。また、設定を変えて、いろいろなパターンの対話練習を行う。	・電話での特有な表現に慣れる。 ・1文か2文を加えて、オリジナルの対話を作る。	第 1 学 期 期 末 考 査
		英語のしくみ 1一文の構造① (2) 文の構造 (①主語+動詞 (SV) / ②主語+動詞+補語 (SVC) / ③主語+動詞+目的語 (SVO)) を理解する。	・基本的な文構造について確認し、身の回りのことを表現してみる。	
	6	Lesson 3 What Are Good Snacks? (5) <題材> マイクとホストマザーの対話、科学者の意見から、健康によいおやつについて理解する。 <機能・表現> 説明や報告をする表現/提案や助言する表現 <言語材料> ①現在進行形 ②接続詞 (文と文をつなぐとき/文の中に文が入るとき)	・ペアまたはグループで、いろいろな状況で頻繁に行うことを紹介し合う。また、お互いにインタビューし合い、グループで報告する。	
		Lesson 4 A Friendly Hug (6) <題材> 日本とアメリカの挨拶の違いを理解する。アメリカでホームステイをすることになった翔太が、空港での出迎えのシーンで驚いたこととはどのようなことだったのかを理解する。 <機能・表現> 描写する表現/考えや気持ちを伝える表現 <言語材料> ①不定詞 (to+動詞の原形) (名詞的用法/副詞的用法/形容詞的用法) ②動名詞 (動詞+ing)	・身の回りで、文化の違いによる行動や表現の異なるものを確認する。また、それらについてどのような印象をもつか意見を交換する。	
		英語のしくみ 2一句と節 (2) 句 (単語のまとまり (S+V を含まないもの)) と節 (単語のまとまり (S+V を含むもの)) の違いを理解する。	・基本的な文構造について確認し、身の回りのことを表現してみる。	
	7	Lesson 5 Kawaii (6) <題材> 「カワイイ！」という日本語が海外で広く浸透していることを知り、日本文化についての様々な見方を理解する。 <機能・表現> 説明したり、考えや意図を伝えたりする表現 <言語材料> ①比較 (比較級/最上級) ②「～に…を作る」などの言い方 (SVOO)	・各自が「カワイイ！」と思うものを取り上げ、英語で紹介し合う。また、いくつかの特徴的な日本文化を取り上げ、外国人がどのように感じるかを推測する。	
	【課題・提出物など】 次のテーマについて、口頭で発表させたり、「スピーチ原稿」または「英作文」を提出させたりする。 ①自己紹介 (自分の好きなもの、趣味、得意・不得意科目、地域、家族、友人などについて) ②友だちを誘うメール ③「カワイイ！」と思うもの			
【第1学期の評価方法】 定期考査の他に、課題 (提出状況と内容)、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうか (発表、音読) も評価の観点となる。				

第 2 学 期	9	Lesson 6 Sempai and Kohai (6) <題材> 年上の人に対して日本では「先輩」ということばをよく使うが、英語にも同じような表現があるかどうかを確認する。文化が異なれば発想や表現方法が違うこともあることを理解する。 <機能・表現> 説明したり描写したりする表現／話題を発展させる表現 <言語材料> ①「～を…と呼ぶ」などの言い方 (SVOC) ②「(～が) …することは～です」などの言い方	・異なる文化によって生じる表現や行動の違いを話し合う。また、相手にいつもと違う言い方や行動を取られると、どのように感じるかを発表し合う。	第 2 学 期 中 間 考 査	
		Let's Communicate 2 買い物をしよう (2) 買い物でよく使う慣用表現を学ぶ。店員の言うことを理解し、自分の意思を適切に伝える。	・買い物で使う慣用表現を用いて、ロールプレイを行う。		
	英語のしくみ 3一文の構造② (2) 文の構造 (①主語＋動詞＋目的語＋目的語 (SVOO) / ②主語＋動詞＋目的語＋補語 (SVOC)) を理解する。これまで学習してきた基本的な文構造をまとめる。	・基本的な文構造について確認し、英語の基本的な語順に慣れる。			
	Reading 1 The Cracked Pot (6) 昔、インドに1人の水汲み人と2つのつぼがあった。片方のつぼが完璧に水を運ぶのに対して、もう一方のつぼには大きなひびがあり、半分しか水を運べないことを恥じていた。水汲み人に対して申し訳なく感じるひび割れつぼに、水汲み人は優しく語る。	・意味のまとまりを意識しながら、英語の語順で文を理解し、物語の内容を把握するようにする。また、登場人物の気持ちが伝わるように音読する。			
	11	スラッシュリーディング (1) Reading 1 The Cracked Pot の一節を、文頭から英語の語順で理解できるようにし、意味のまとまりごとに区切って読む練習をする。	・意味のまとまりを意識しながら音読する。また、物語の内容が伝わるように音読する。	第 2 学 期 期 末 考 査	
		Lesson 7 Mago-no-Mise (7) <題材> 三重県のある高校では、課外活動として特別な活動をしている。レストランの特徴、運営に携わる高校生の様子、地域に与える影響などについて理解する。 <機能・表現> 報告や理由を述べる表現／説明する表現 <言語材料> ①受け身 (受動態) ②分詞の後置修飾 (現在分詞／過去分詞)	・中学校・高校での職場体験の様子や、その感想 (うれしかったことなど) を話し合う。また、どのような職場体験をしてみたいか、その理由を含めて発表する。		
		Let's Communicate 3 道案内をしよう (2) 道案内の場面でよく使う基本表現を理解する。道を尋ねる側と道を教える側に分かれて対話練習を行う。	・インフォメーション・ギャップを用いて、目的地を捜す活動を行う。また、身近な場所を設定して、ペアで道案内の練習をする。		
	【課題・提出物など】 次のテーマについて、口頭で発表させたり「スピーチ原稿」または「英作文」を提出させたりする。 ①架空の新製品のCM ②買い物での会話 (オリジナル・ダイアログの作成) ③職場体験 (または、アルバイト) の取り組み内容、体験したい職業など				

		<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>定期考査の他に、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。ペアでの対話などで積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかとも評価の観点となる。Readingの課では、物語の感想や登場人物の気持ちを表現しようとする姿勢も評価する。</p>	
第 3 学 期	1	<p>Lesson 8 Marathon of Hope (7)</p> <p>〈題材〉 病気で片脚を失ったカナダ人青年の、命をかけた挑戦を知り、それをきっかけに、その後どのようなことが世界に広まったかを理解する。</p> <p>〈機能・表現〉 説明したり報告したりする表現</p> <p>〈言語材料〉 ①現在完了形（継続／経験／完了・結果） ②関係代名詞（人を説明するとき／ものを説明するとき）</p>	<p>・ある目的のために挑戦し続けていることや、こだわっていることなどについてグループで話し合う。</p>
		<p>Lesson 9 Mottainai (6)</p> <p>〈題材〉 日本語の「もったいない」ということばは、ケニアの元環境副大臣ワンガリ・マータイ氏によって世界に広まった。なぜ、どのようにしてこのことばが広まっていったかを理解する。</p> <p>〈機能・表現〉 説明したり理由を述べたりする表現／考えや意図を伝える表現</p> <p>〈言語材料〉 ①*関係副詞(場所を説明する where/時を説明する when) ②*助動詞(can, must, will)+be+過去分詞</p>	<p>・どのような場面で「もったいない」ということばを使うかグループで意見を出し合う。また、世界に広がっている他の日本語について確認する。</p>
		<p>英語のしくみ 4—名詞を詳しく説明する (2)</p> <p>名詞を後ろから詳しく説明する句や節を理解する。後置修飾を使った練習問題で、これまでに学習した題材の内容を簡単に復習する。</p>	<p>・身の回りのことを題材にして、名詞を後ろから説明する句や節を含んだ英文を作る。</p>
	2	<p>Reading 2 The Story of Wangari Maathai (7)</p> <p>日本語の「もったいない」を世界に広めたケニアのワンガリ・マータイ氏が、母国での緑化運動（グリーンベルト運動）を始めるきっかけは何だったのかを読み取る。また、この運動の後の、ケニアの人々の生活の変化と、マータイ氏の心情の変化を理解する。</p>	<p>・緑化運動の前後の人々の心の変化を想像してみる。また、物語の情景を思い浮かべて音読する。</p> <p>・本文を要約する。</p>
		<p>Let's Talk about Your Wishes. (1)</p> <p>基本的な仮定法過去の文の意味と用法を理解し、それを使って簡単な自己表現をする。</p>	<p>・自分の願いや考えなどについて、仮定法過去の文を使って発表し合う。</p>
			<p>【課題・提出物など】</p> <p>次のテーマについて、写真を使って発表させたり「スピーチ原稿」または「英作文」を提出させたりする。</p> <p>①自分の挑戦していることや得意なこと（Show and Tell）</p> <p>②身近で実践している「もったいない」</p> <p>③身近で環境問題に取り組んでいることの要点</p>
		<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>定期考査の他に、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかとも評価の観点となる。Readingの課では自分の感想を表現しようとする姿勢も評価する。</p>	

【年間の学習状況の評価方法】

定期考査に加え、授業中の英語学習に対する関心・意欲・態度、英語を理解し表現しようとするコミュニケーションへの姿勢、課題や発表活動への取り組み、標準的な発音で英語を話そうとする努力などを、1, 2, 3学期をとおして総合的に評価する。

指導の観点など

確かな学力を身につけさせるための指導の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な発音の英語を十分に聞かせて練習させることで、音声への認識を高めさせる。 ・基本的な文法事項を確実に身につけさせるために、音声をとおして繰り返し練習させる。 ・身の回りで使われる単語を与え、英語で表現する基礎的な力を身につけさせる。 ・英語で発表する機会を多く与え、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲を育てる。
授業を受けるに当たって生徒に守らせたい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・英語学習の基本的習慣をつける。 ・課題や提出物を提出する。 ・恥ずかしがらずに積極的に英語を発音する。 ・基本的な文法事項や基礎的な単語力を身につけるための練習を継続的に行う。 ・自分の意見を述べるなど、積極的にコミュニケーションを図る努力をする。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・英語に興味・関心をもち、積極的に授業に参加してコミュニケーションを図ろうと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況と意欲 ・課題などの提出状況とその内容
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や事実を英語で表現したり、説明したりしようと努力しているか。標準的な発音で英語を話そうと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチや英作文 ・授業中の発言や活動への取り組み ・英語で自分の考えなどを簡潔に表現
外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を注意して聞いたり読んだりして、相手の考えや文章の内容を的確に理解しようと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容理解（概要や要点）の程度 ・ディスカッションへの取り組み ・要約文や感想文
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で多く使われる表現を習得しているか。 ・英文の内容を十分理解し、知識を広げようと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のしくみの理解 ・使用されていることばの意味や働きの理解 ・英作文（要約文）の内容